

認定京町家事業認定申請書の書き方

別記様式 (第3条関係)

記入例

認定京町家事業認定申請書

(宛先) 京 都 市 長	年 月 日
申請者の住所(法人にあつては、主たる事務所 の所在地)	申請者の氏名(法人にあつては、名称及び代 表者名。記名押印又は署名)
	電話 —

申請される方について記入ください。

住居専用地域以外の場合、住居専用地域における住宅宿泊事業の実施期間の制限を受けないため、認定京町家事業の認定申請は不要です。

住宅宿泊事業が制限されている地域ではないことを御確認ください。

家主居住型（住宅宿泊事業者が当該届出住宅に3箇月以上居住し、住宅宿泊管理業務を自ら行うものに限る。）では無い場合にチェックが入ります。家主居住型の場合、住居専用地域における住宅宿泊事業の実施期間の制限を受けないため、認定京町家事業の認定申請は不要です。

申請にかかる住宅が、「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」で定める「京町家」に当てはまるかどうかを御確認ください。

申請にかかる住宅が、「認定京町家事業の要件」を備えていることを御確認ください。

所在地	京都市 東山 区 ○○町○番地
敷 用 途 地 域	<input checked="" type="checkbox"/> 第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域又は第2種中高層住居専用地域のいずれかに該当する。
その他地域地区	<input checked="" type="checkbox"/> 地区計画又は建築協定で住宅宿泊事業が制限されていない。
届出住宅（予定）の 使用・管理方法	<input checked="" type="checkbox"/> 京都市住宅宿泊事業の適正な運営を確保するための措置に関する条例第11条第1項第1号に該当しない。

申請にかかる住宅の所在地を記入ください。

全てにチェックが入ることを御確認ください。

京都市認定京町家事業に関する要綱第3条の規定により認定を申請します。		
京町家の概要	建 築 時 期	<input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法施行(昭和25年)以前 (昭和3 年建築)
	構 造	(必 須) <input checked="" type="checkbox"/> 木造
		(必 須) <input checked="" type="checkbox"/> 伝統的な構造(伝統軸組構法)
	形 態 又 は 意 匠	(必 須) ^注 <input checked="" type="checkbox"/> 平入りの屋根 注:角地、路地状敷地、高塀造りのものは必須でない。
		(必 須) <input checked="" type="checkbox"/> 3以下の階数
		(必 須) <input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て又は長屋建て
		(いずれか一つ以上) <input checked="" type="checkbox"/> 隣地に接する外壁又は高塀 <input type="checkbox"/> 通り庭 <input type="checkbox"/> 火袋 <input checked="" type="checkbox"/> 坪庭又は奥庭 <input checked="" type="checkbox"/> 通り庇 <input checked="" type="checkbox"/> 格子
	京都市住宅宿泊事業 の適正な運営を確保 するための措置に関 する規則第3条第1号 に規定する要件	(必 須) <input checked="" type="checkbox"/> 瓦ぶきの屋根
		(必 須) <input checked="" type="checkbox"/> 隣地に接する外壁又は高塀
		(いずれか一つ以上) <input type="checkbox"/> 通り庭 <input type="checkbox"/> 火袋 <input checked="" type="checkbox"/> 坪庭又は奥庭
(いずれか一つ以上) <input checked="" type="checkbox"/> 通り庇 <input checked="" type="checkbox"/> 格子		
備 考		

該当する口に、し印を記入ください。
(複数選択可です。)

※重複する項目についても全て記入ください。

し印を記入した要素が確認できる図書
(建物の登記事項証明書、写真等)を
添付してください。

条例第11条第2項の規定に基づく宿泊者への説明に関する計画

説明をするための方法	面接による説明の時期	施設内での鍵渡し時等	<p>宿泊者に対する京町家の説明を、いつ行うかを記載ください。</p> <p>どのように説明を行うかを記載ください。</p> <p>説明の際に使用する資料について記載ください。 また、当該資料を申請書に添付してください。</p> <p>外国人宿泊者に対する説明をどのように行うかについて記載ください。</p>	
	説明方法	具体的方法		施設内を案内しながら説明する等
		説明に使用する資料等		由来や特徴、生活文化等を記載した冊子、パンフレット等
		外国人宿泊者への対応		・通訳を雇い対応 ・英語・中国語等の冊子を用意する等
説明内容	申請に係る京町家の由来	本建物が所在する〇〇地区は、江戸期の……火災を免れたと伝わる。明治〇〇年(18〇〇)には、……していった。昭和初期になると、……京都市明細図によると……。戦後は……となり、通り沿いはビルなどへの建て替えが進み戦前の町家は数少なくなった。 〇〇家は江戸後期から五代続く家柄で、初代〇〇は当地で薬屋を開業し、屋号は「〇〇」と称した。棟札によると……。	当該建物が所在する地域の歴史、当該建物の由緒・沿革、当家の生業・家業等について記載ください。	
	京町家としての特徴	主屋は、〇〇通りの東側に面し、西向きに建つ。間口4間半、奥行6間、東側に浴室と便所が突出し渡り廊下でつながり、縁に面し庭が設けられている。木造2階建て、切妻造り、檜瓦葺きで通り庇の上には鐘櫓さんが置かれている。外壁は真壁じゅうらく風塗り壁、南寄壁は桧板張りである。1階庇には幕かけが付けられ、出格子及び平格子をもつ。主屋1階の間取りは……。おく(座敷)には、床の間が設えてあり、床柱は赤松の皮付き丸太、……。庭は、おく(座敷)に面して設えられており、植栽は……。	主屋や付属屋の構造、外観、空間構成、内部意匠の特徴、坪庭や奥庭の設え等について記載ください。	
	申請に係る京町家において受け継がれてきた生活文化	当家では、年中行事として、〇月には〇〇、〇月には〇〇、……を行ってきた。〇〇の際の室礼としては、〇〇に〇〇を飾り……。また夏の室礼として、〇月には、建具替えを行っている。ふすまを簾戸に替え、畳にはあじろを引いて……。行事や季節に合わせて、〇〇の際の料理として……。祭りや地藏盆の際には……。地域交流として……。御近所さんとは……。……を大事にしてきた。	季節の変化に合わせた暮らし(祭事、建具替え等)、地域とのかかわり(多様な交流、相互の配慮、門掃き等)、来訪者へのおもてなし(床の間等の設え、茶道、華道等)、など、当該建物で受け継がれてきた生活文化について記載ください。	
本計画を実施するための体制	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅宿泊管理業者に必要な研修を行い、住宅宿泊管理業者から説明を行う。 ・専任の説明要員を確保する。 ・説明員のための説明マニュアルを備える。等 	本計画を実施するための人員など、体制について記載ください。		

【添付図書】

- 申請に係る京町家が昭和25年以前に建築されたことを証する書面(建物の登記事項証明書、京町家カルテ等)
- 京町家条例の「京町家」の定義に当てはまることを確認できる図書(各要素の写真等)
- 認定京町家事業の要件に適合することが確認できる図書(各要素の写真等)
- 付近見取図
- 各階平面図
- 宿泊者への説明に使用する資料

(注意)

1 この面は、記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができません。

記入欄に収まらない場合などは、別の書面で提出いただいで結構です。その際、記入欄には「別紙1参照」等の記載をしておいてください。